

## 第1章

# 東京2020大会 開催に向けて

2013年の東京2020オリンピック・パラリンピック開催決定後、横浜市は今大会の成功に向けて動き出す。様々な関係機関と連携し、本市の体制構築を行って、準備を進めた。途中、コロナ禍で延期となったが、2021年夏に大会は無事に開催。横浜開催の軌跡を振り返る。

みんなの輝き、  
つなげていこう。  
Unity in Diversity

# 東京2020オリンピック・パラリンピック 横浜開催の軌跡

写真：TopFoto / アフロ

## 1964年

10月 東京1964オリンピック開催

横浜会場(バレーボール:横浜文化体育館、  
サッカー男子:三ツ沢公園球技場)



↑1964年10月 東京1964オリンピック開会式

## 2002年

5月 2002FIFAワールドカップ™ 開催(～6月)

## 2013年

9月 東京2020オリンピック・パラリンピック  
開催決定(9月7日)

写真：ロイター / アフロ



↑2013年9月 東京2020大会開催決定の瞬間

## 2014年

6月 オリンピアン・パラリンピアンによる  
学校訪問事業を開始(以降、毎年度実施)

## 2016年

1月 英国のホストタウンとして登録(1月26日)

2月 横浜市、川崎市、慶應義塾大学、英国オリンピック委員会、  
日本オリンピック委員会が事前キャンプに関する覚書を締結(2月8日)

4月 ラグビーワールドカップ2019™  
東京2020オリンピック・パラリンピック横浜市推進本部設置(4月25日)

8月 野球・ソフトボールが東京2020オリンピックの追加種目に決定(8月4日)

リオデジャネイロ2016オリンピック・  
パラリンピック開催(～9月)

11月 ラグビーワールドカップ2019™  
東京2020オリンピック・パラリンピック  
横浜開催推進委員会設立総会を開催(11月17日)

12月 野球・ソフトボールの横浜開催決定(12月7日)



↑2017年3月 横浜市、川崎市、慶應義塾大学、  
英国オリンピック委員会による契約締結式

## 2017年

- 3月 横浜市、川崎市、慶應義塾大学が英国オリンピック委員会と事前キャンプに関する契約を締結(3月21日)
- 7月 「ラグビーワールドカップ2019™ 専門委員会」及び「東京2020オリンピック・パラリンピック専門委員会」第1回合同委員会を開催(7月5日)
- 9月 「東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー」を実施(9月3日～12日)
- 10月 「東京2020オリンピック・パラリンピック1000日前キャンペーン in 横浜」を実施(10月28日～11月25日)
- 11月 福島県と横浜市の子どもたちによる軟式野球の親善試合を横浜スタジアムで開催(11月25日)



↑2017年9月 東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー



↑2017年11月 福島県と横浜市の子どもたちによる軟式野球親善試合

## 2018年

- 3月 「ラグビーワールドカップ2019™ 専門委員会」及び「東京2020オリンピック・パラリンピック専門委員会」第2回合同委員会を開催(3月26日)
- 4月 ラグビーワールドカップ2019™ 東京2020オリンピック・パラリンピック横浜開催推進委員会医療救護検討部会開催(4月24日 以降、全9回開催)
- イスラエル国、チュニジア共和国のホストタウンとして登録(4月27日)
- 5月 サッカーの横浜開催決定(5月2日)
- 2018ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会に出場する英国選手と市内小学校との交流会を実施(5月11日、12日)
- 横浜市、川崎市、慶應義塾大学、英国パラリンピック委員会が事前キャンプに関する覚書を締結(5月24日)
- 8月 東京2020オリンピック・パラリンピック横浜市ウェブサイトを開設(8月1日)
- 「横浜にオリンピックがやってくる! [Tokyo 2020 2 Years to Go!] in Yokohama」を開催(8月4日)



↑2018年5月 英国トライアスロン・パラトライアスロン選手と市内小学校との交流会



↑2018年8月 東京2020オリンピック・パラリンピック横浜市ウェブサイトを開設

8月 英国代表チーム応援ウェブサイト「GO GB 2020」を開設(8月30日)  
 「ラグビーワールドカップ 2019™ 専門委員会」及び「東京2020  
 オリンピック・パラリンピック専門委員会」の第3回合同委員会を開催(8月31日)  
 ベナン共和国、ボツワナ共和国のホストタウンとして登録(8月31日)

9月 横浜市・都市ボランティア募集(9月12日～12月12日)

ジャパンパラ水泳競技大会(横浜国際プール)に  
 出場する英国パラ水泳代表選手と交流会を実施  
 (9月21日)



←2018年9月～  
 12月 横浜市・都  
 市ボランティア  
 募集

10月 ラグビーワールドカップ2019™  
 東京2020オリンピック・パラリンピック  
 横浜開催推進委員会交通輸送検討部会  
 開催(10月3日以降、全13回開催)

コートジボワール共和国のホストタウン  
 として登録(10月31日)

11月 「ジャパンウォーク in YOKOHAMA 2018秋」  
 を開催(11月10日)

12月 IOC・調整委員会による会場視察  
 (横浜スタジアム)(12月3日)



↑2018年9月 英国パラ水泳代表選手との交流  
 会

## 2019年

3月 「500日前セレモニー」を開催、  
 Twitterアカウントを開設(3月12日)

「500 Days to Go!フェスティバル  
 ～東京2020開催まであと500日!～」を開催  
 (3月16日)

「ラグビーワールドカップ2019™ 専門委員会」  
 及び「東京2020オリンピック・パラリンピック  
 専門委員会」の第4回合同委員会を開催(3月26日)



↑2019年3月 500 Days to Go! フェスティバ  
 ル～東京2020開催まであと500日!～

4月 「フラワーフォトスポット～ Welcome to  
 TOKYO 2020～」を設置(4月13日～6月2日)

サッカー、野球・ソフトボールの  
 競技スケジュールが決定(4月16日)

宿泊施設バリアフリー化促進事業費補助金  
 募集開始(4月22日以降、毎年度実施)



↑2019年4月 フラワーフォトスポット～ Welco  
 me to TOKYO 2020～

5月 東京2020オリンピック観戦チケット  
 抽選申込受付開始(5月9日)

- 5月 2019ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会に出場する英国選手と市内小学校との交流会を実施(5月17日)
- 7月 「東京2020ライブサイト」横浜市内の2会場(市庁舎アトリウム・横浜文化体育館)での開催を発表(7月5日)
- 韓国・光州世界水泳選手権大会に向けて英国水泳代表チームが横浜国際プールでプレ事前キャンプを実施(7月8日～16日)
- ラグビーワールドカップ2019™ 及び東京2020オリンピック・パラリンピックに係る神奈川推進会議及び横浜開催推進委員会の合同総会を開催(7月11日)
- 「1 Year to Go! フェスティバル～東京2020開催まであと1年!～ in 横浜市」を開催(7月13日)
- 8月 「～Tokyo 2020 Paralympic Games 1 Year to Go!～ 1年前記念イベント in 神奈川」を開催(8月17日)
- 9月 ラグビーワールドカップ2019™ 日本大会開催(～11月)
- オリンピック・パラリンピック教育推進校向けプログラム(パラリンピック競技について知る、体験する、考える取組)を開始(以降、毎年度実施)
- 10月 福島県で行われた「東京2020オリンピック開幕300日前イベント」に横浜市の子どもたちが参加(10月5日)
- CCY(横浜市・都市ボランティア)キックオフイベント開催(10月6日)
- ブルガリア共和国、モロッコ王国のホストタウンとして登録(10月31日)
- 11月 英国オリンピック委員会アンディ・アンソンCEOが林市長(当時)を訪問(11月5日)
- ソフトボール女子日本代表ふれあいフェスティバル開催(11月19日)
- 12月 英国パラリンピック委員会ペニー・ブリスコー選手団長が桐蔭横浜大学で講演を実施(12月4日)



↑2019年7月 英国プレ事前キャンプ(公開練習)



↑2019年7月 神奈川推進会議及び横浜開催推進委員会合同総会



↑2019年9月 ラグビーワールドカップ2019™ ファンゾーンでPRブース出展



↑2019年10月 開幕300日前イベント(福島あづま球場)



↑2019年11月 ソフトボール女子日本代表ふれあいフェスティバル

12月 英国事前キャンプ横浜市ボランティア  
「横浜ホストタウンサポーター」募集  
(12月20日～2020年1月21日)



↑2020年1月 200日前記念セレモニー in 横浜市

## 2020年

1月 「200日前記念セレモニー in 横浜市」を開催、  
シティドレッシング(都市装飾)を開始(1月6日)

「200 Days to Go! フェスティバル in 横浜市  
～東京2020 開催まであと200日!～」を開催  
(1月25日)



↑2020年1月 200 Days to Go! フェスティバル  
in 横浜市 ～東京2020 開催まであと200日!～

2月 「東京 2020 オリンピック・パラリンピックを  
成功させる横浜市会議員の会」設立(2月13日)

アルジェリア民主人民共和国の  
ホストタウンとして登録(2月28日)

3月 新型コロナウイルス感染症の影響で  
大会の1年延期が決定(3月24日)

4月 「ラグビーワールドカップ2019™ 専門委員会」及び  
「東京2020オリンピック・パラリンピック専門委員会」  
第5回合同委員会を開催(4月3日)

6月 CCY(横浜市・都市ボランティア)活動継続意向確認(6月～)

7月 東京2020オリンピックの新たな競技スケジュールが決定(7月17日)

「今、スポーツにできること in 横浜。  
for Tokyo2020」を開催(7月23日)

1年前記念ライトアップを神奈川県・相模原市・  
藤沢市とともに実施(7月23日、8月24日)

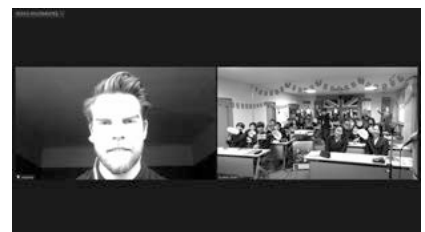


↑2020年7月 今、スポーツにできること in 横  
浜。for Tokyo2020

9月 東京2020オリンピック聖火リレー及び  
東京2020パラリンピック聖火リレーの  
新たな日程等が決定(9月28日)

11月 「250 Days to Go! オンラインフェスティバル  
for Tokyo2020 in 横浜」を開催  
(11月15日～2021年1月4日)

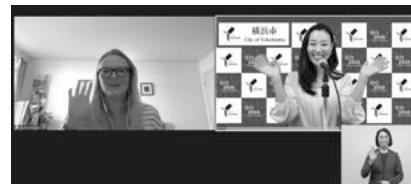
英国オリンピック委員会の  
マーケティング責任者が市立高等学校で  
オンライン講演会を実施(11月18日)



↑2020年11月 英国オリンピック委員会による  
市内高校生に向けた講演会

## 2021年

- 3月 英国パラリンピアンからのメッセージ  
～共生社会を考える～オンラインセミナーを  
開催(3月19日)
- 東京2020オリンピック・パラリンピックの  
海外観客受入れ断念を決定(3月20日)
- 4月 「100日前キャンペーン in 横浜」を実施  
(4月14日～5月16日)
- 100日前記念ライトアップを神奈川県と  
ともに実施(4月14日、5月16日)
- 6月 横浜市内の「東京2020ライブサイト」、  
「コミュニティライブサイト」及び  
「パブリックビューイング」の中止決定(6月11日)
- 東京2020オリンピック聖火リレーの  
神奈川県内公道走行中止決定(6月11日)
- 東京2020オリンピック・パラリンピック  
聖火リレートーチ展示(6月15日～17日)
- 「神奈川県・横浜市ゆかり選手  
オンライン壮行会」を開催(6月19日)
- オリンピックシンボルを活用した  
大型モニュメント設置(6月29日～8月8日)
- 競技会場周辺をバナーフラッグなどで装飾  
(6月29日～8月8日)
- 東京2020オリンピック聖火リレー  
点火セレモニー、セレブレーションを実施(6月30日)
- 7月 「横浜版ウェルカムガイドブック」を発行(7月～)
- 「フォトゲイニングで横浜めぐり～もうすぐ  
横浜にオリンピックがやってくる!～」を開催(7月4日)
- ボツワナ共和国オリンピック代表チームが  
事前キャンプを実施(7月7日～8月5日)
- 東京2020オリンピックの原則無観客での  
開催が決定(7月8日)
- CCY(横浜市・都市ボランティア)活動中止決定  
(7月8日)
- 英国オリンピック代表チームが事前キャンプを実施  
(7月8日～8月1日)
- チュニジア共和国オリンピック代表チームが  
事前キャンプを実施(7月10日～26日)
- 「横浜スポーツガーデン」を開催  
(7月21日～8月8日、8月24日～9月5日)



↑2021年3月 英国パラリンピアンによるオンラインセミナー



↑2021年4月 100日前キャンペーン in 横浜



↑2021年6月 市庁舎アトリウムでの聖火リレートーチ展示



↑2021年6月～8月 競技会場周辺を装飾したバナーフラッグ



↑2021年6月 オリンピック聖火リレーセレブレーション



↑2021年7月 英国オリンピック代表チーム事前キャンプ(横浜国際プール)



7月

## サッカー男子の横浜国際総合競技場 初戦を迎える (7月22日)

### 東京2020オリンピック開会式 (7月23日)

## 「動くスポーツピクトグラム」を活用した ライトアップを実施

(7月23日～8月1日 ※緊急事態宣言の発令に伴い期間短縮)

## ソフトボールの横浜スタジアム初戦を迎える (7月24日)

## 横浜スタジアムでソフトボール決勝、 日本代表が金メダル獲得 (7月27日)

## サッカー女子の横浜国際総合競技場初戦を 迎える (7月27日)

## 野球の横浜スタジアム初戦を迎える (7月29日)

8月

## サッカー女子決勝の会場が オリンピックスタジアムから 横浜国際総合競技場へ変更決定 (8月5日)

## 横浜国際総合競技場でサッカー女子決勝 (8月6日)

## 横浜スタジアムで野球決勝、 日本代表が金メダル獲得 (8月7日)

## 横浜国際総合競技場でサッカー男子決勝 (8月7日)

2002FIFAワールドカップ™、ラグビーワールドカップ2019™、  
東京2020大会サッカー競技の各決勝が横浜国際総合競技場で開催され、  
「世界三大スポーツイベント」の決勝を経験した世界初のスタジアムとなった

## 東京2020オリンピック閉会式 (8月8日)

## 東京2020パラリンピック聖火フェスティバル (8月12日～15日)

## 「横浜市採火式、パラリンピアンによる トークセッション」を開催 (8月13日)

## 英国パラリンピック代表チームが 事前キャンプを実施 (8月13日～9月1日)

## ボツワナ共和国パラリンピック代表チームが 事前キャンプを実施 (8月13日～22日)

## スポーツ庁事業参加国のパラリンピック 代表選手が事前キャンプを実施 (8月14日～20日)

## 東京2020パラリンピックの 原則無観客での開催が決定 (8月16日)

写真：青木紘二／アフロスポーツ



↑2021年7月 ソフトボール日本代表が優勝を  
決めた(横浜スタジアム)

写真：新華社／アフロ



↑2021年8月 サッカー女子決勝はカナダがス  
ウェーデンにPK戦で勝利(横浜国際総合競  
技場)

写真：青木紘二／アフロスポーツ



↑2021年8月 野球日本代表・稲葉篤紀監督の  
胴上げ(横浜スタジアム)

写真：AP／アフロ



↑2021年8月 サッカー男子決勝でスペインを  
下したブラジル(横浜国際総合競技場)



↑2021年8月 横浜市採火式、パラリンピアン  
によるトークセッション



8月 「横浜市立学校全校が参加した学校作品展示」を開催(8月19日、20日)

**東京2020パラリンピック開会式**(8月24日)

9月 東京2020パラリンピック閉会式(9月5日)

東京2020大会関連企画展  
(報道写真展・特別展・巡回展)を実施  
(9月7日～12月28日)

「神奈川・横浜アスリート感謝会～おうちからARIGATOを届けよう!～」を開催(9月26日)

10月 「CCY(横浜市・都市ボランティア)感謝会」及び横浜市スポーツ栄誉賞贈呈式を開催(10月16日)

市庁舎アトリウムで各競技の各国代表サイン入りユニフォームなどを展示(10月21日、22日)

「東京2020オリンピック・パラリンピックを成功させる横浜市会議員の会」解散総会(10月22日)

「横浜ホストタウンサポーター感謝会」を開催(10月31日)

12月 「ラグビーワールドカップ2019™東京2020オリンピック・パラリンピック横浜開催推進委員会 総会」を開催、同日をもって解散(12月3日)



↑2021年8月 ポツワナパラリンピック代表チーム事前キャンプ(日本体育大学)



↑2021年10月 CCY(横浜市・都市ボランティア)感謝会



↑2021年10月 サイン入りユニフォームなどの展示

## 新型コロナウイルス感染症の影響により、人流抑制や無観客の決定を受けて中止した事業

	中止した内容(事業概要)	当初計画での実施期間
都市ボランティア	競技会場周辺や最寄駅周辺などで、観客の案内や問合せ対応、グッズを使ったおもてなしなど	7月22日～8月7日
	競技会場周辺での清掃活動	7月22日～8月7日
	運営本部におけるボランティアの受付や休憩所の運営補助等	7月22日～8月7日
暑さ対策	●競技会場周辺における冷却シート等の暑さ対策グッズの配付 ●競技会場周辺における注意喚起	●横浜国際総合競技場周辺:7月22日～8月7日 ●横浜スタジアム周辺:7月23日～8月7日
案内デスク	競技会場最寄駅での観客向け案内デスクの設置	7月22日～8月7日
東京2020ライブサイト・コミュニティライブサイト・パブリックビューイング	大型スクリーンを利用した競技中継、会場装飾、競技体験、ステージイベント、大会パートナー出展、主催者展示、飲食売店、公式ライセンス商品販売等	●東京2020ライブサイト:7月31日～8月7日 ●パブリックビューイング:7月21日～8月8日、8月24日～9月5日 ※ その他、市内で予定されていたコミュニティライブサイトも、すべて中止
会場周辺交通規制	両会場の交通規制について、一部区間の規制取りやめ	7月20日～8月9日
都市装飾	競技会場周辺や市街地での都市装飾について、箇所の縮小・期間短縮(一部、競技会場周辺や駅周辺等で実施)	6月28日～9月5日

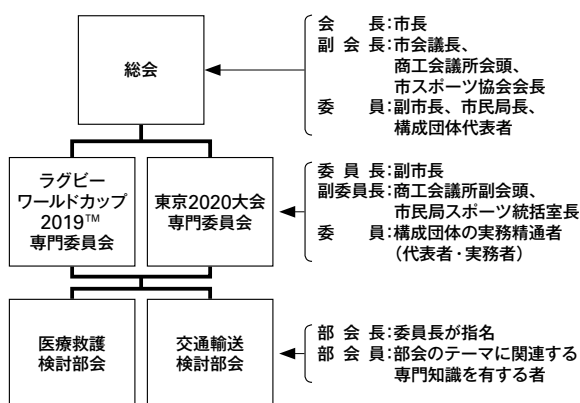
# 横浜市の体制構築

## ①ラグビーワールドカップ2019™ 東京2020オリンピック・パラリンピック 横浜開催推進委員会

2016年11月17日に設立した官民連携組織であり、ラグビーワールドカップ2019™ 及び東京2020大会の成功に向け、開催準備をはじめ、機運醸成の取組や、両大会を契機としたスポーツや文化芸術の振興、シティプロモーションなどの様々な取組を、オール横浜で一丸となって推進した。当委員会は横浜市長を会長とし、経済団体、交通事業者、障害者団体、スポーツ団体、文化団体など合計87団体で構成され、「総会」「専門委員会」「専門部会」を設置した。

なお、2016年11月17日の設立総会では「ラグビーワールドカップ2019™ 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた横浜ビジョン」（横浜ビジョン、P43参照）を策定した。

### 横浜開催推進委員会体系図



### 総会

横浜ビジョンの実現に向けた情報共有や連携調整のため、節目ごとに開催(構成団体及び委員はP124参照)。

#### 開催実績

開催日	名称	会場
2016年11月17日	横浜開催推進委員会 設立総会	ロイヤルホールヨコハマ
2019年7月11日	ラグビーワールドカップ2019™ 及び東京2020オリンピック・パラリンピックに係る神奈川推進会議及び横浜開催推進委員会の合同総会	横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ
2021年6月30日	ラグビーワールドカップ2019™ 東京2020オリンピック・パラリンピック 横浜開催推進委員会 総会	書面開催
2021年12月3日	ラグビーワールドカップ2019™ 東京2020オリンピック・パラリンピック 横浜開催推進委員会 総会	ロイヤルホールヨコハマ

### 専門委員会

ラグビーワールドカップ2019™ 及び東京2020大会の両大会に関する事項について円滑な推進を図るため、それぞれで専門委員会を設置し、各団体ごとに委員(専門委員)が選出された。

当委員会は、横浜ビジョンの実現に向けた取組に係る課題の整理や、対応策の検討について協議を行うことを目的に開催された(両専門委員会の構成団体及び委員の重複が多いことから、すべて合同で開催した)。また、委員へは適宜、大会関連の情報提供を行った。

### 専門部会

両大会の開催準備にあたり、民間団体との連携・協力が必要となる個別事項について、関係団体との連携調整、情報共有を行うため、2つの「専門部会」を設置した。医療救護検討部会は、横浜市医師会・横浜市病院協会からの推薦により選出された方及び市内医療機関の救命救急センター長で構成。競技会場内及び大会開催中の市内の医療体制について検討した(全9回開催)。

交通輸送検討部会は、神奈川県警察・道路管理者及び交通輸送関係団体及び各会場の施設管理者で構成され、観客輸送ルートの設定、広報など大会に向けた交通輸送全般について検討した(全13回開催)。

#### 開催実績(専門委員会)

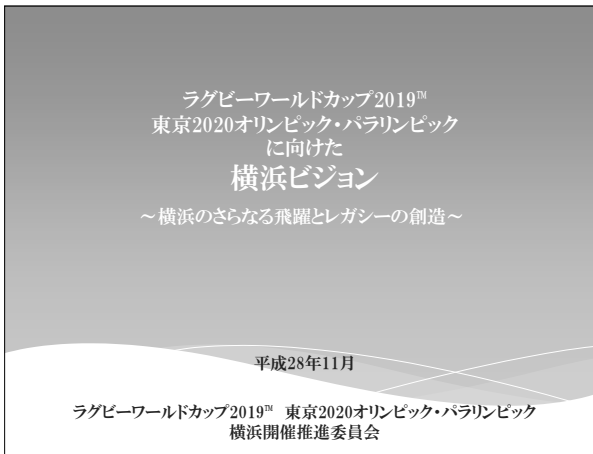
開催日	名称	会場
2017年7月5日	第一回合同委員会	ワークピア横浜
2018年3月26日	第二回合同委員会	ナビオス横浜
2018年8月31日	第三回合同委員会	ホテルメルパルク横浜
2019年3月26日	第四回合同委員会	ワークピア横浜
2020年4月3日*	第五回合同委員会	書面開催

※新型コロナウイルス感染症の影響により、通常開催から書面開催に変更し、4月3日に資料を送付

**横浜ビジョン**

両大会を契機に横浜の魅力・活力を世界に発信していくための横浜市の「基本姿勢」や「取組の柱」、「取組から生まれるレガシー」などを取りまとめたもので、2016年6月1日～30日に市民意見募集を実施し(意見数117件)、同年11月17日の設立総会において策定された。

横浜ビジョンでは、両大会に向けた横浜市の基本姿勢として右記の4つを掲げた。また基本姿勢に基づく、取組の柱を右記の4つとし、各取組から生まれるレガシーをまとめた。



**基本姿勢**

- オール横浜でラグビーワールドカップ2019™、東京2020オリンピック・パラリンピックの成功に最大限貢献します。
- スポーツと文化芸術を両輪とした取組により、賑わいと活力を創出します。
- 世界中から様々な人々が訪れる両大会、とりわけパラリンピックを契機に誰もが互いに尊重し、支え合う共生社会の実現を目指します。
- 両大会に向けた取組の成果を「次の世代への贈り物(レガシー)」として遺し、横浜のさらなる飛躍につなげます。

**取組の4つの柱**

- ① 両大会の成功に向けてオール横浜でおもてなし
- ② スポーツを通じて横浜を元気に
- ③ 文化芸術の創造性を生かしたまちづくり
- ④ 横浜を世界に魅せる

←2016年11月に策定された横浜ビジョン



→2016年11月17日、ロイヤルホールヨコハマで行われた設立総会の様子



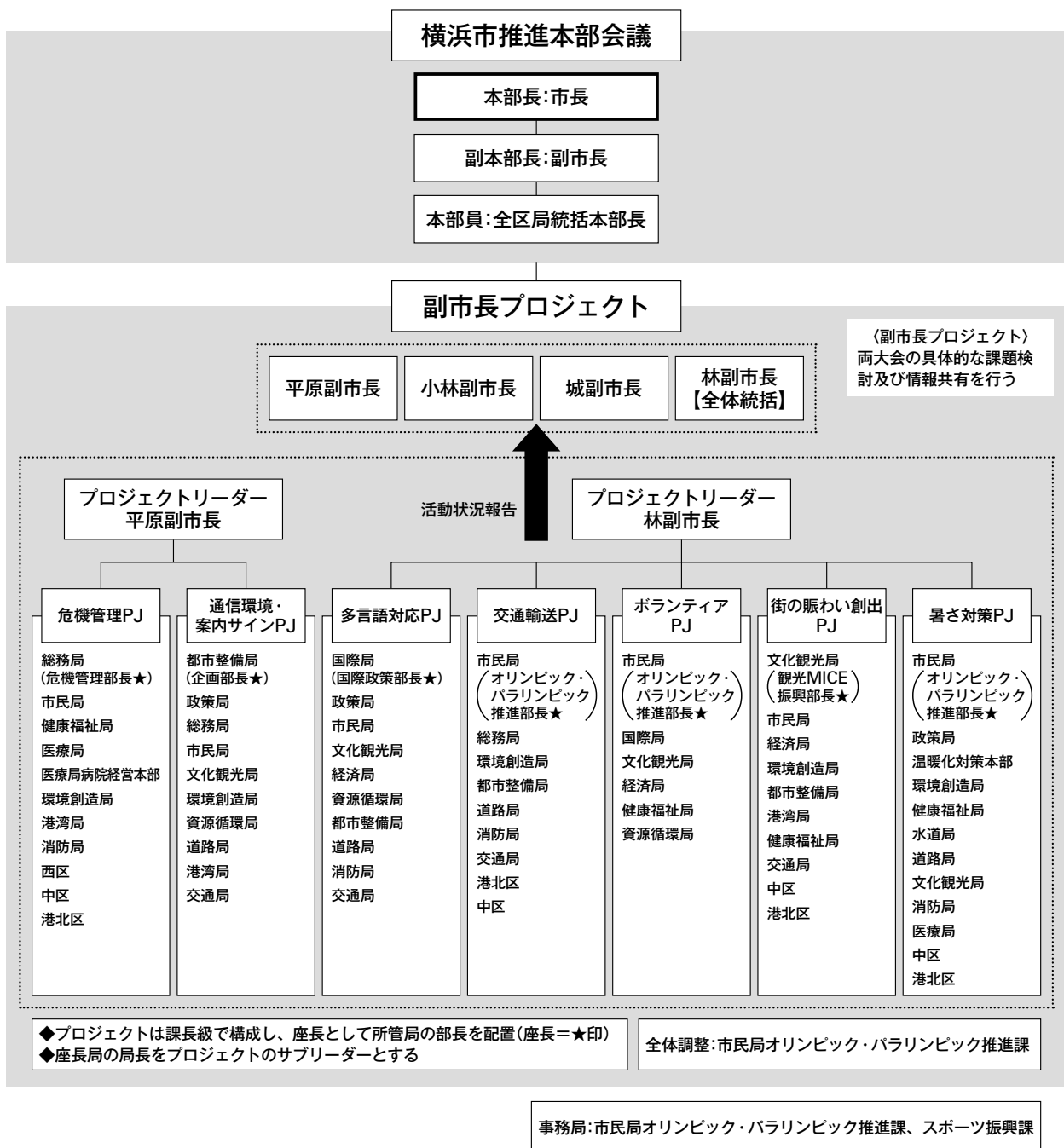
←2019年7月11日、横浜ベイシェラトンホテル&タワーズで行われた合同総会の様子

## ② ラグビーワールドカップ2019™ 東京2020オリンピック・パラリンピック 横浜市推進本部

市内推進組織として2016年4月25日に、「ラグビーワールドカップ2019™ 東京2020オリンピック・パラリンピック 横浜市推進本部」を設置。両大会の成功に最大限協力するとともに、スポーツ振興を進め、文化・観光・MICEほかの取組を強め、国内外に横浜の魅力を発信した。加えて、横浜の魅力を高めていくための検討を進め、取組を実行していくことを目的とした。

推進本部内に市長を本部長、副市長を副本部長、技監、危機管理監、全区局長及び統括本部長を本部員とする「横浜市推進本部会議」を設置するとともに、大会運営などに係る個別テーマの検討及び情報共有を行う「副市長プロジェクト」を設置した。

### 推進本部 体系図(2020年4月時点)



## 副市長プロジェクト

	プロジェクト名	設置年月	役割等
1	危機管理PJ	2017年8月	各種災害対策(コロナ対策を含む)、救急医療体制、開催期間中の警戒体制等
2	通信環境・案内サインPJ	2016年7月	通信環境の整備、案内サインの多言語化
3	多言語対応PJ	2017年9月	案内サイン、飲食・宿泊等の観光サービス、通訳等ボランティアなど、様々な取組の横断的かつ統一感のある多言語化の推進
4	交通輸送PJ	2018年3月	両大会開催時等における交通・輸送対策の検討、計画の策定等
5	ボランティアPJ	2017年8月	ボランティアの活用方針や配置計画の策定等
6	街の賑わい創出PJ	2018年11月	両大会開催期間中の賑わい創出・経済活性化
7	暑さ対策PJ	2020年1月	会場周辺等における来街者の暑さ対策の検討実施

※「会場整備」及び「ファンゾーン」プロジェクトは、ラグビーワールドカップで主な取組を終了したため、令和元年度をもって廃止した

## 横浜市の取組

2017年4月の推進本部会議において、「横浜ビジョン」(P43参照)実現のために、横浜市が主体的に推進する必要がある取組を「ラグビーワールドカップ2019™ 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた横浜市の取組」として策定した。

「横浜市の取組」は状況の変化に対応しながら、毎年度更新。横浜市では、両大会の開催を契機に、スポーツ振興はもとより、文化芸術の振興、経済、教育分野、シティプロモーションなど幅広い取組により、次世代を担う子どもたちへの「贈り物」となるような有形無形のレガシーを遺していくことに努めた。

### ③ 市民局スポーツ統括室 オリンピック・パラリンピック推進部

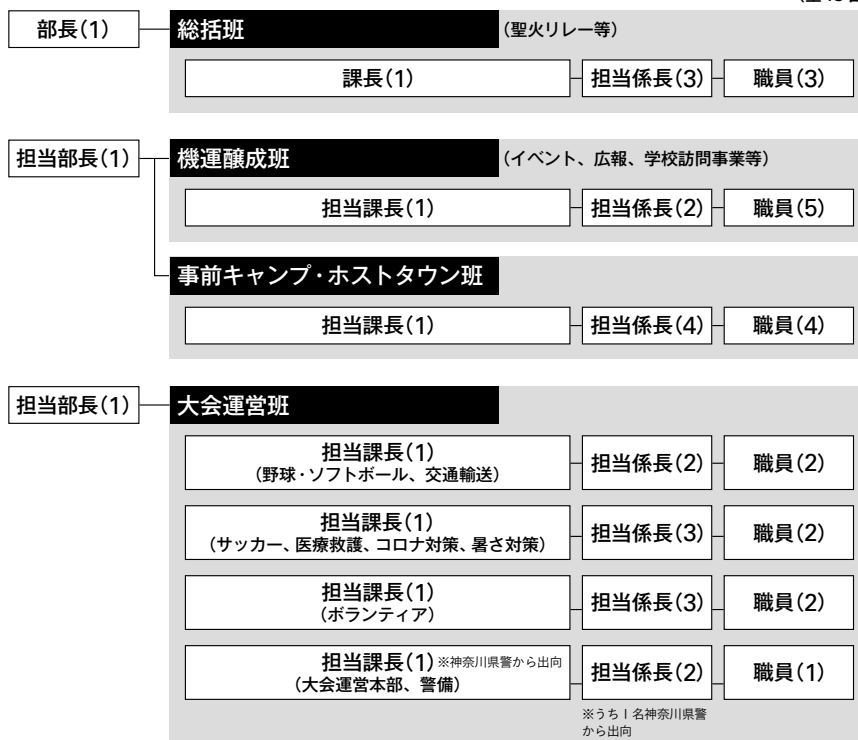
市民局スポーツ統括室内にオリンピック・パラリンピック推進部が設置され、東京2020大会関連施策に係る総合調整を行った。また、区局統括本部の関係各課長が「オリンピック・パラリンピック横浜市推進担当」を兼務し、横断的な組織体制で大会の成功に貢献した。

東京2020組織委員会へも係長級職員を派遣し、2021年度は13名(4月時点)が業務にあたった。

#### オリンピック・パラリンピック推進部 体制図

(2021年6月30日時点)

(全48名)



## ④ 東京2020オリンピック・パラリンピックを成功させる 横浜市会議員の会

東京2020大会の成功を目指して、2020年2月13日に「東京2020オリンピック・パラリンピックを成功させる横浜市会議員の会」を設立。大規模スポーツの大会運営に関する調査・研究や、議会・市民・行政が一丸となった大会機運を盛り上げるための取組推進を目的とした。

### スケジュール

- 2020年2月13日 設立総会
- 2020年6月23日 新議場のオープニングセレモニーにおけるJOC山下泰裕会長の講演
- 2020年11月20日 横浜スタジアム、横浜国際総合競技場視察
- 2020年12月18日 橋本聖子東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣(当時)、JOC山下泰裕会長への表敬訪問及び要望活動
- 2021年10月22日 解散総会



←設立総会にて横山正人会長(当時)が挨拶

→新議場オープニングセレモニーにて、JOC山下泰裕会長が講演



↑横浜スタジアム視察の様子。同日、横浜国際総合競技場も訪れた



↑橋本聖子東京オリンピック・パラリンピック担当大臣(当時)を表敬訪問。コロナ対策を含む要望活動も行った



→解散総会にて清水富雄会長が挨拶→→東京2020組織委員会の中村英正ゲームズ・デリバリー・オフィサーによる講演で、大会の振り返りを行った

